

## 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

## (21) 農業融資専門部署と営農部門の連携

JAぎふ (岐阜県)

新規	継続
	○
	(平成 28 年 4 月)

1 動機(経緯)	農協改革の議論の中で、農業者に対するJAの役割が、これまでの営農経済部門を中心とした関係性だけでなく、信用事業を含めた総合的な関係性の構築・深化を求められていることを受け対応しているものです。
2 概要	平成 28 年度より設置している「農業金融サポート室」を平成 29 年度も引き続き他部門と連携し次の対応を行います。 1 総合的な相談機能の確立 部門間連携による情報共有(営農・信用等)を強化し、農業者の様々な相談に対しスピード感を持って対応できる体制を本支店間に確立します。 2 金融面での対応力強化 農業者の潜在的な金融ニーズを引き出し当該ニーズに応じた提案を強化します。 また、営業店職員の農業金融に対する苦手意識を払拭し、意識改革を図ります。
3 成果(効果)	多様化する資金ニーズに対応するため、県下統一資金(アグリサポート資金)を中心に、JA独自資金(農業経営サポート資金(あぐりサムライ))も活用しながら積極的な融資対応を行いました。 部門間連携を重視し、タブレット端末を活用し、営農経済部門との情報共有を実施しています。同室職員と担い手に出向く担当者(TAC)・営農経済職員が同行訪問を行い、JA一体となった支援を行いました。 これらの取組みにより、平成 29 年 12 月時点の農業融資実行件数は 143 件、実行金額 796 百万円(残高 1,871 百万円)となりました。
4 今後の予定	経営まで踏み込んだ農業経営サポートを行っていきます。また、農業法人、若手の生産者を対象にした、経営者セミナー・個別経営相談会を開催予定しています。